

⇒ 大学において学修するための基礎知識 I～Ⅷ

I. 「履修する」ということ —所属する学科の課程を学習し修めること—

各学科の課程には、必修科目(所属する学科で必ず履修しなければならない科目)とそれ以外の科目「選択科目」があります。このうち「選択科目」については、皆さんの学習目的に沿って、自分自身で科目を選びます。所属学科の中心的な科目である必修科目を学習するとともに、その周辺科目である選択科目を自分で選ぶことで、自分なりの学修体系をつくりあげていくことになります。なお、履修するためには、大学が定める期間内に「履修登録」する必要がありますので、必ず覚えておいてください。

皆さんは、近い将来、就職活動など、自分の進路を決定しなければならない時期がやってきます。自分の可能性を大きく広げるために、基礎となる大学での学習に、主体的に取り組んでください。

II. 本学の学期はセメスター制

セメスター制とは、1年間を前学期(15週間)と後学期(15週間)の2学期に分け、学期ごとに、配当科目が定められ、授業・試験・成績評価を行う学期制度です。各科目は、半年間で完結します(※一部科目を除く)。

卒業までには、2学期×4年=8学期(短期大学部は2学期×2年=4学期)あります。卒業までの4年間(短期大学部は2年間)の履修計画を立て、そして、年度ごとに修正しながら、各学期の配当科目を学習していくことが大事です。

III. 大学の授業科目は単位制 —学習時間と単位の関係—

各科目の単位数は、文部科学省が定める大学設置基準に基づき、教室における学習時間数と教室以外(授業以外)での学習時間数(予習・復習の時間)の合計で決まります。本学のほとんどの科目が2単位で、2単位を修得するためには、

→ 授業科目 1コマ = 2時間/週(本学では90分) × 15週間

修得のための予習復習時間 = 4時間/週 × 15週間

の時間数が必要とされます。

例えば、前学期で24単位(12科目)履修登録した場合、1週間で授業以外に「4時間×12=48時間」の予習・復習が必要となり、月～土の6日間で考えると、1日平均8時間の予習・復習が必要となります。したがって、無制限に履修登録すると消化不良を起こしてしまいます。そこで本学では、**年間で履修登録できる単位数と学期ごとに履修登録できる単位数にそれぞれ上限を設けています**(※詳細は6ページ「2 履修登録にあたっての注意事項」を参照のこと)。

IV. カリキュラム(学修体系)の特長 —いろいろあるのが本学の特長—

皆さんは、将来の目標があって、それぞれの学科を選び、難関を突破して入学してきました。大学では、それに応えるべく、皆さんが満足できる、そして皆さんを、自信を持って社会に送り出せるようなカリキュラムを作っています。カリキュラムには、本学の伝統に培われた教育理念と、学風が盛込まれていることを、皆さんはしっかりと感じ取ることができるでしょう。以下に、科目の種類と学修体系の特長を記します。

◆科目の種類

①【必修科目】

各学科に配当された、学科のめざす専門分野の科目です。必修科目は、必ず履修して、合格の成績評価を受けないと卒業できません。1つでも不合格だと卒業できません。

②【選択必修科目】

各学科に配当された、学科のめざす専門分野の科目で、限定された科目群の中から、指定された単位数を修得しなければならない科目です。

③【選択科目】

各学科に配当された、より高い専門性を修得するための科目です。皆さんの意思で自由に選択できます。

◆学修体系の特長

【総合教育科目と専門教育科目】

本学のカリキュラムは総合教育科目と専門教育科目の2つに大別されます。

※詳細は「学生生活ハンドブック」の履修編「授業科目の概要」を参照のこと。

【他学科・他学部聴講制度】

本学のカリキュラムの大きな特徴として、**他学科・他学部聴講制度**があります。これは、他の学科・学部に配当されている科目を、皆さんが自由に選択できる制度です(※実習・実験・演習科目、一部科目を除く)。

本学は、農学から出発し、農学の多様性から生物系の総合大学へと発展してきました。学問領域は、より細分化、より専門化され、学際的視野・知識が必要不可欠とされています。本学は、農学分野の性格上、大局的視野と高度な専門性の修得を教育目標としています。**他学科・他学部聴講制度**は、本学の教育理念“実学主義”にも通じるもので、現実を広い視野で考え、実社会に役立つ高度な専門性を築いていくことを、学生の皆さんに期待しています。

【英語による専門教育プログラム】(大学のみ)

全学部全学科の学生を対象としたプログラムです。本学の専門的な教育科目を、すべて英語による授業で開講するものです。グローバル化時代に対応した大学教育の必要性から実施するものです。自分の英語の実力アップを計りながら、『Basic』なレベルの科目から『Advanced』な科目へ挑戦してください。

【教職課程(大学のみ)・学術情報課程】

教員免許取得や学芸員、司書の資格を取得したい学生のために開講しています。これらの資格を取得したい学生は、自分で申請して履修手続きをしなければなりません。

V. 履修登録する ー選択科目を選ぶ、そこに自分の可能性が詰まっているー

必修科目以外の選択科目をいかに選ぶか。皆さんが、より良い学修体系を創造していくためのアドバイスです。

① 自分の学修体系を決める。

卒業までの4年間または2年間を総合的に把握し、卒業後の将来を見据えた学習プランを考えてください。

→ 在學生は、成績表をもとに、自分の学修体系を再確認すること。前年度までの学習計画を再検討するのに良い機会でもある。さらに方向修正もできる。

② 科目名をチェック ⇒科目名で大体的なイメージができる。

- ◇ 自分の学科配当の選択科目
- ◇ 自分の学部の共通配当科目
- ◇ 他の学科、学部の科目

③ Web シラバス(講義要項)で科目の講義内容をチェック。

科目名だけでは、実際の細かな講義内容はわかりません。Web シラバスには、全科目の授業概要と到達目標、授業の進行、評価の方法など詳細が載っていますので活用してください。

④ 履修登録前に、履修したい候補の講義を受講する。

シラバスで科目の内容がわかったら、実際の講義に出席して内容をチェックしてください。本当に学びたい科目なのか確認しましょう。履修登録前であれば、自分の興味に応じて自由に授業に出席することができます。※「上位学年の開講科目」を除く。また、「クラス指定がある科目」等、一部の科目を除く。

⑤ さあ、履修登録しましょう。⇒履修登録期間をチェック ※5ページに日程を記載

前学期の授業開始後に、後学期の開講科目を含めて、1年間分の科目を履修登録します。後学期の科目については、授業に出席せずに登録科目を決めなくてはいけませんが、後学期開始後に履修の変更登録期間を設けていますので、前学期と同様に登録前に授業に出席することができます。**変更登録期間では後学期開講科目の追加・削除・変更が可能です。**

履修登録するための諸注意を、6ページ以降に記載していますのでよく読んでください。

【重要】：履修登録は、定められた期間でしか行うことができません。忘れずに、また、間違いのないよう慎重に登録してください。

VI. 履修モデル

就職・進学するために有益な科目として推奨する「履修モデル」を学科別に記載していますので、参考にしてください(※履修モデルのとおりを受講しないと就職・進学・資格取得ができない、というわけではありません)。

(注意) 履修モデルに記載されている科目のみで、卒業要件単位や資格取得に必要な単位を充足するわけではありません。

当該学科の卒業要件単位(必修・選択必修・選択科目)、資格関係科目を全て修得しなければ、卒業や資格取得(受験資格を含む)することはできません。卒業及び資格取得に必要な単位の詳細は、入学時に配付した「学生生活ハンドブック」を参照してください。

VII. 学生の皆さんへの注意事項 ー自分のことは自分で、責任を持ってー

1. 配付した書類は熟読してください。
2. 学生ポータルサイトや掲示板を必ず確認してください。
3. 提出期限は厳格に守ってください。(期限後は受付けません)
4. **電話での問合せは一切受付けません。**
5. 教務課(世田谷)・学生教務課(厚木)窓口の業務時間(時間外は受付けません)

【平日(授業期間)】世田谷:8:30~19:30、厚木:8:30~17:00

VIII. 学部・学科等の名称の短縮表示・表示順番について

本学では学科等の名称を略して表示することがあります。また、掲示物などの順番も原則として次のように行います。

学 部 名 等	略称名
農学部	農学部
農学科	農学
農業生産科学コース	農
園芸生産科学コース	園
畜産学科	畜産
バイオセラピー学科	セラピー
応用生物科学部	応生学部
バイオサイエンス学科	バイオ
生物応用化学科	化学
醸造科学科	醸造
食品安全健康学科	健康
栄養科学科	栄養
地域環境科学部	地域学部
森林総合科学科	森林
生産環境工学科	工学
造園科学科	造園
国際食料情報学部	国際学部
国際農業開発学科	開発
食料環境経済学科	経済
国際バイオビジネス学科	ビジネス
短期大学部	短大部
生物生産技術学科	短生
環境緑地学科	短緑
醸造学科	短醸
英語による専門教育プログラム	英語専門
全学共通科目	全学共通
教職課程	教職
学術情報課程	学情